

累計265万部突破の喫茶店ミステリー 3年ぶりの最新作 『珈琲店タレーランの事件簿9』 3/4発売



第10回『このミステリーがすごい!』大賞・隠し玉(※)作品の「珈琲店タレーランの事件簿」シリーズから、最新刊『珈琲店タレーランの事件簿9 ピーベリーは美しく輝く』を3月4日(水)に発売します。

『珈琲店タレーランの事件簿』は、京都の喫茶店を舞台に日常の謎を解く、累計265万部突破の人気ミステリーシリーズです。人の死のないライトなミステリーであることや珈琲のうんちく、手に取りやすいかわいらしいイラストの表紙が受け、幅広い層に支持されています。

著者の岡崎琢磨氏は、2012年に当シリーズでデビュー。著者のインタビューも可能ですので、ぜひ取材をご検討いただけますと幸いです。『このミステリーがすごい!』大賞は、これからも新しい作家・作品を発掘・育成し、業界の活性化に寄与してまいります。

(※)“隠し玉”とは、受賞には及ばなかったものの、最終選考作品の中からベストセラーになる可能性を秘めた作品を発掘し、編集部のアドバイスのもと改稿して刊行している作品のことです

『珈琲店タレーランの事件簿9 ピーベリーは美しく輝く』 発売日：2026年3月4日 / 価格：840円(税込)

《あらすじ》

ファンだった大女優の死に、憂い顔を見せる珈琲店《タレーラン》のオーナー・藻川又次(もかわ・またじ)から、バリスタ兼店長である姪孫・切間美星(きりま・みほし)と結婚する気があるなら二人に店を譲る、と持ちかけられたアオヤマ。一人悩む中、直近三ヶ月ほどで、レビューサイトに店の悪評が三件も書き込まれているのに気づく。いったい誰が、何の目的で? 美星とアオヤマはレビューに書かれた日のことを回想しはじめる……。

タレーランのおすすめポイント その1

読むと珈琲が好きになる! 飲みたくなる!

■ 9巻にはピーベリーのうんちくが!

ピーベリーはコーヒーノキの枝の先など、栄養が行き届きにくい場所になるという説があります。片方の種子が死んでしまうそうなんです。全体の収穫量の五から二十パーセントと希少価値が高いので、高値がつけられることが多いです。
(本書より一部抜粋)

タレーランのおすすめポイント その2

どの巻から読んでもOK!

9巻からでも楽しめる!

■ 冒頭にいままでのあらすじも!

僕が初めてタレーランを訪れたのは、もう五年も前になる。そのときは一見(いちげん)の飛び込みで、それまで追い求めていた理想を体現したコーヒーの風味と、美星さんの人柄に惹(ひ)かれて常連になった。(本書より一部抜粋)

本作から初めて読む方も、久しぶりの方も安心♪

気になる本書の内容を一部ご紹介

- 第一章・カバーはいつかけ替えられたのか? …触っていない文庫本のカバーがかけ替えられていた。いったいなぜ?
- 第二章・シャルルはいかにして脱走したのか? …看板猫のシャルルが脱走? ドアが閉まった状態でいつ、どこへ?
- 第三章・生首はどこから現れたのか? …おとといの夜、生首がベランダの外を飛ぶのを見たという女性。その正体は?

それぞれの謎が解けたとき、見えてくる真相とは……!?

デビューより大切に書き継いできた『珈琲店タレーランの事件簿』シリーズ、おかげさまで15年目にして9巻を上梓できる運びとなりました。今でも多くの方に「待ってた」と言っていただけて、本当に感謝してもきれません。常に挑戦を続けてきた本シリーズですが、今回も新たな一面を示すとともに、作家としてのライフワークとなったことを象徴する一作になったと感じています。皆様楽しんでいただけることを願っております。

著者：岡崎琢磨(おかざき・たくま) 取材・テレビ出演可能です!

1986年、福岡県太宰府市生まれ。京都大学法学部卒業。東京都在住。第10回『このミステリーがすごい!』大賞・隠し玉として、『珈琲店タレーランの事件簿 また会えたなら、あなたの淹れた珈琲を』(宝島社文庫)で2012年デビュー。同書は、第1回京都本大賞に選ばれた。スリーピースバンド「謔言(うわごと)」のメンバーとしても活動中。